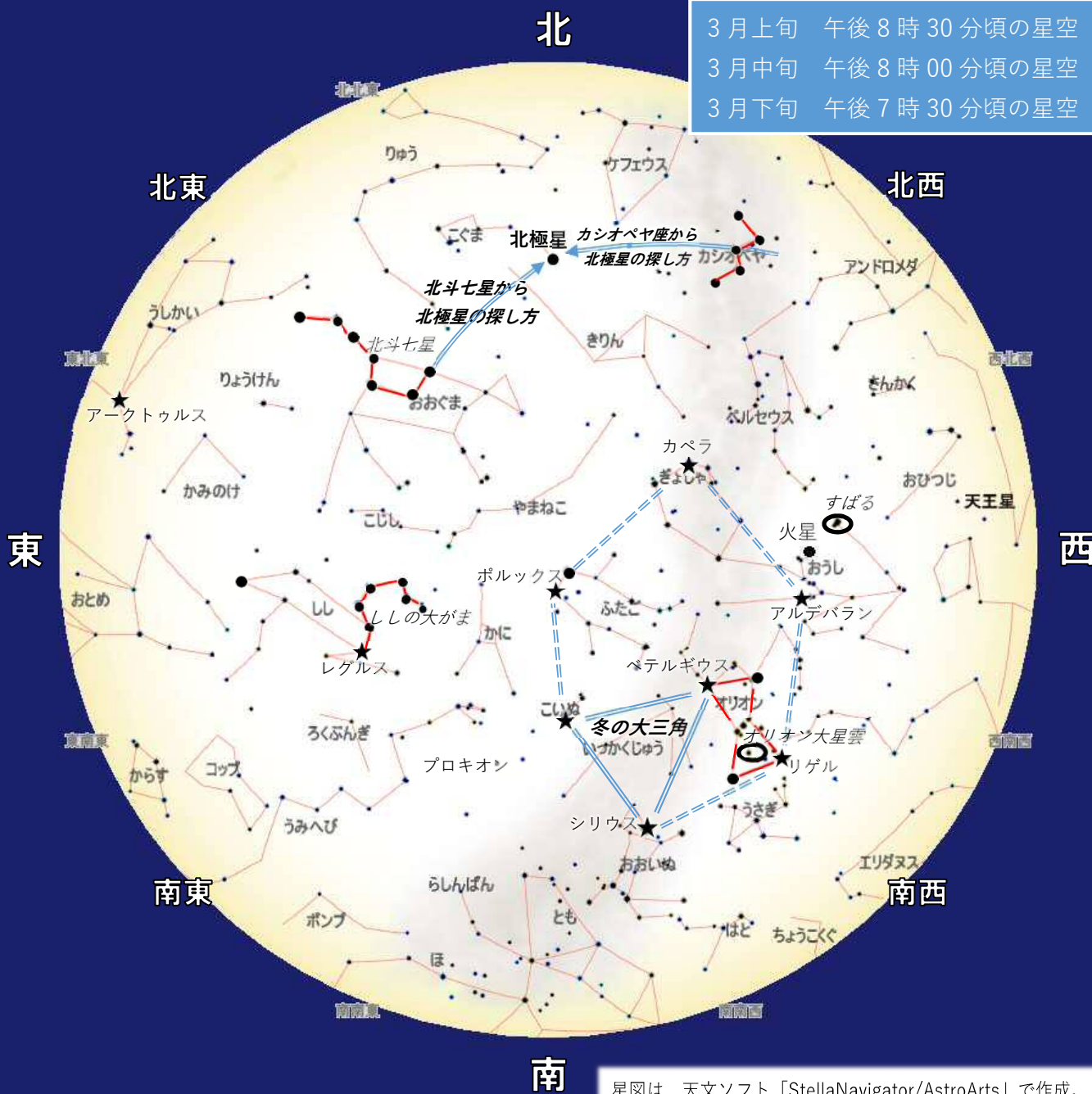


2021年 3月の星空案内



3月上旬 午後8時30分頃の星空
 3月中旬 午後8時00分頃の星空
 3月下旬 午後7時30分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成。

【3月の星空と火星】

冬の星座の1等星、オリオン座の「ベテルギウス」と「リゲル」、おうし座の「アルデバラン」、おおいぬ座の「シリウス」、こいぬ座の「プロキオン」、ふたご座の「ポルクス」、ぎょしゃ座の「カペラ」が、まだ空高く輝いています。アルデバランの近くには、赤さを競うように「火星 (0.9 → 1.3等)」が並んで見えます。

東の空からは、春の1等星の先駆け、しし座の「レグルス」が昇ってきました。しし座の目印は、はてなマーク(?)を左右逆にしたような『ししの大がま』です。

【北極星の見つけ方】

「カシオペア座」が低くなりました。かわって「北斗七星」が北東の空に昇ってきます。春から夏にかけては「北斗七星」が北極星を見つける手掛かりです。「北斗七星」は、おおくま座のしっぽの部分で、星座ではありませんが、昔からよく知られた星の並びです。